『風水害・土砂災害』が発生！

『気象情報』を聞く、
『異常』を感じたら

●台風の接近や大雨など、普段から正しい情報を早めに入手し、すばやく行動できるよう避難準備をしておく

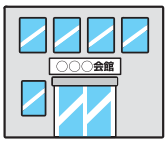
●避難行動に時間が必要な方は早めに避難する

『大雨・洪水など』
・動きやすい服装で、２人以上で避難
・足もとや水深に注意
・高齢者などの避難に協力

『土砂災害』
・山間地やがけ地付近に住んでいる方は「土砂災害警戒情報」の発表に注意
・土砂災害の予兆・前兆現象に注意

少しでも異常を感じたら

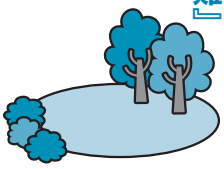
緊急避難所

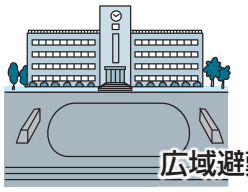


『火災』が発生！

『初期消火』、『119番』、『すみやかな避難』

いっとき避難場所





広域避難場所

●避難場所の種類と役割

いっとき避難場所：地域で定めている避難場所、地震・津波・火災などから逃れるための、一時的に避難する場所
緊急避難所：地域の会館など、風水害や土砂災害などから身を守るための、一時的に避難する施設
広域避難場所：大規模地震の延焼火災から逃れるための、一時的に避難する広い場所
➡大磯中学校、県立大磯城山公園、大磯運動公園、大磯ロングビーチ、国府中学校
指定避難所：被災により自宅等で生活できない場合に短期間避難生活をする施設
➡平塚商業高等学校、平塚工科高等学校、大磯高等学校、大磯小学校、大磯中学校、国府小学校、国府中学校

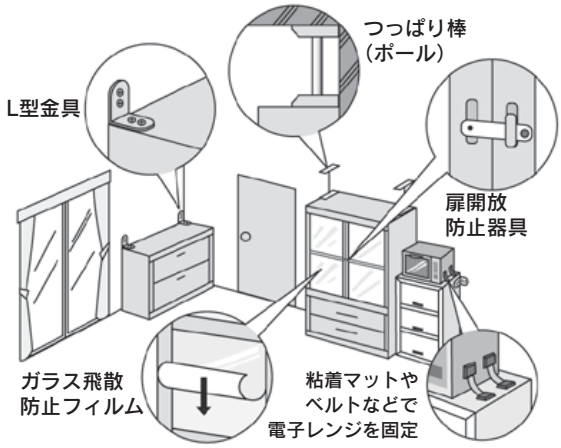
チェックしよう！

我が家の危険箇所

- ☐ 家の中に倒れる家具のない安全なスペースは確保できていますか？
- ☐ 寝室や子ども、高齢者、病人がいる部屋には倒れそうな家具を置いていませんか？
- ☐ 家具の転倒や落下を防止する対策はできていますか？
- ☐ 出入り口や通路に物を置いていませんか？
- ☐ 屋外を確認しよう！
  - ・ベランダの植木鉢など落ちる危険がある場所に置いていませんか？
  - ・屋根瓦のひび割れなどは補修・補強しましたか？
  - ・アンテナはしっかりと固定されていますか？
  - ・ブロック塀にひび割れや傾き、鉄筋のさびはありませんか？

『我が家の安全対策』

大きな地震では、倒れてくる冷蔵庫や棚の下敷きになって大けがをする恐れがあります。家具固定などの対策を進めましょう。

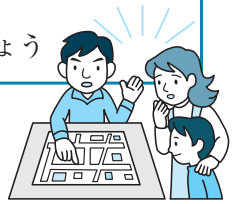


協定を締結

一般社団法人神奈川県トラック協会と「災害時における貨物自動車輸送の協力に関する協定書」を締結しました。
災害時においてトラック協会の協力により円滑な輸送が期待されます。

「外出先では、どう身を守る？」

自宅以外で災害に遭遇する場合もあります。（スーパー、エレベーターの中、駅のホームなど）
様々な災害をイメージし、家族などで話し合いましょう



防災マップや津波ハザードマップを再確認しましょう